

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 8日

事業所名 阿賀なかよし園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		令和5年12月1日に中新開から阿賀に移動し、約3倍の広いスペースが確保された。	
	2	職員の配置数は適切である	○		定員10名に対し、1名増員し、4名の職員にて対応	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		完全バリアフリー化を実施	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		行事計画等に活かしている。	事後全体会議にて問題点を改善したサイクルを形成し、次回に向けた計画を明記している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現状外部による評価が困難なことから、PDCAサイクルを活用し業務改善に努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		オンラインでの講習が進んだことで、研修機会の確保が容易となり計画的に実施	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		年2回の保護者懇談を通じて子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、計画に反映している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		適宜な時期に全員参加で個別の事案を検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		週替わりでの集団遊びを実施	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		時に、図書館を利用し、公共の場所で静かに過ごすことを学ばせ、本を読んだり、本を借りたりして楽しむことを覚えさせた。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ハート職員さんに対し、前回利用の状況等を開始前に話し合いを行い、情報共有を図っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		児童発達支援管理責任者と管理者のダブルチェック	児童発達支援管理責任者が各職員の意見を取り入れ作成したモニタリングを最終的に管理者が判断し、適切に運用している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者と社会福祉士、精神保健福祉士の資格を有した管理者が参画している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		連絡帳を有効活用し、学校、家庭と連絡を密にしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医の把握はできており、急を要する場合は家族との連携を図る。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談員を通して情報の共有に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		同法人内にある福祉施設との連携を密にしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		児童発達支援施設と共同で夏祭りを実施	
	27	自立支援協議会等へ積極的に参加している	○		日時の調整を行いながら極力参加することを心がけている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		園での児童の状況を、送迎時に伝えるよう努めている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		相談員と情報を共有して、必要な保護者に対し実施している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談員と情報を共有し実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者からの意見を聞き必要があれば保護者会設立も検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		規定に基づき速やかに対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月初旬に園だよりを発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		全て施錠管理している。 職員に対し教育している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後の検討課題とする。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に職員研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		虐待防止の規定に基づき、組織として対応している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーのある子は個別に把握し、職員が情報を共有している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			